



# にこにこすこやかだより

令和3年9月1日  
横浜市立 間門小学校  
校長 中尾 和世  
養護教諭 大隅 智葉

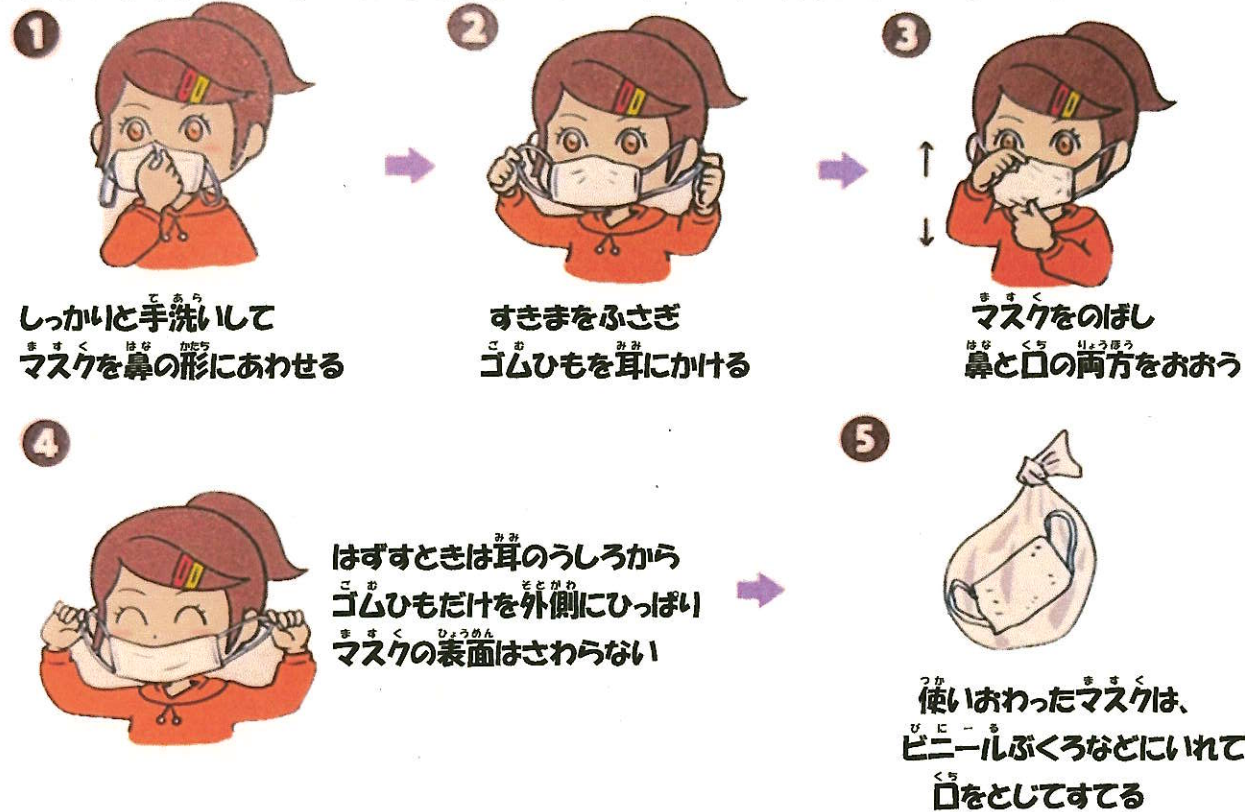
夏休みが終わり、いよいよ学校がはじまりました。今年の夏休みは、新型コロナウイルス感染症の影響に重ねて、台風の影響もあり、出来ない・行けない・会えない・マスクをとれない・・・色々な我慢と直面したかと思います。けれども、そんな制限された中だからこそ、考えさせられたこと・工夫をしたこと・気付いたこと、心と体が大きく成長出来ているのではないのでしょうか。

夏休みの間に寝る時間が遅くなったり、食事の時間が不規則になったりしている人も多くいます。引き続き、感染症の予防に重ねて、規則正しい生活リズムをつくり元気に学校生活を送りましょう！

## 正しくマスクをつけましょう

マスクは、1人ひとりが正しくつけることが大切です。鼻が出ている人、アゴにつけている人、あなたのマスクのつけ方は正しいでしょうか？もう一度確認しましょう。

また、間門小学校では、汚れたとき・落としてしまったとき・ゴムが切れてしまったときのために、予備のマスクをもってくることになっています。すこやかバックの中に数枚入れておきましょう。



## 分散登校が始まります

家だから…午後は授業ないから…と、ゲームや睡眠の時間を多くとってしまうがちですが、学校で勉強する人も、お家で勉強をする人も、リズムを変えず、同じように過ごすよう、意識できるといいですね！



- ・早起きをして余裕をもって支度をしましょう
- ・朝ごはんをしっかり食べましょう
- ・感染症対策を守って体を動かしましょう
- ・ゆっくりお風呂に入りましょう
- ・早寝を心がけ、睡眠をしっかりととりましょう

## 保護者の皆様へ

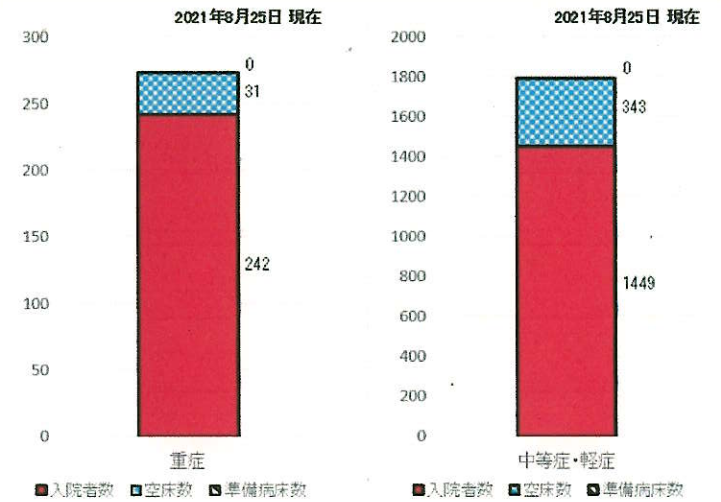
日頃より保健活動のご協力ありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大が深刻な状況をもたらしている、医療が逼迫している様子がニュースでも連日取り上げられています。全国的にほぼ全ての地域がこれまでに経験したことのないほど感染が拡大しました。横浜市内の学校関係者の新規感染者報告では、令和3年度夏季休業期間だけで、令和2年度一年間の感染者数を超えたとの通知が出ました。デルタ株の流行以降、10代以下の感染者数は増加傾向にあり、感染対策の強化が求められています。今後とも、学校と家庭とで協力し、感染予防に努め、教育活動を進めていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

## 病床利用率 (神奈川県内)

重症 88.64% 中等症(軽症を含む) 80.86%

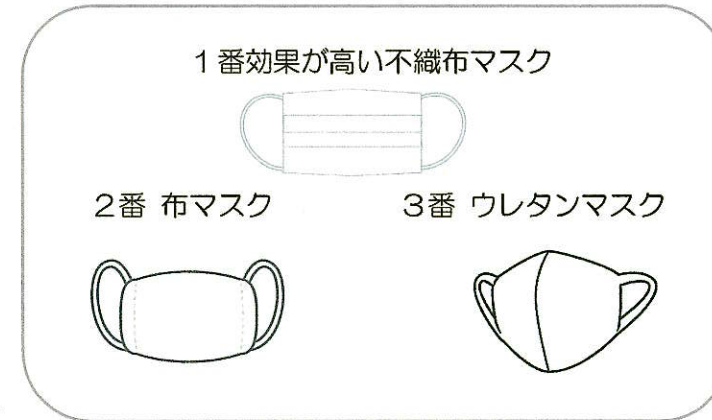
2021. 8. 25 現在データ 神奈川県 HP 参照



## 不織布マスクが推奨されています

従来の新型コロナウイルスでは、飛沫感染が主な感染経路とされてきましたが、デルタ株は従来のものとは全く違い、「空気感染に近い」といわれています。そこで、うつさない・うつらないためにも1人ひとりが正しくマスクを着用することがとても大切です。

また、一般的なマスクでは、不織布マスクが最も高い効果を持ち、次に布マスク、その次にウレタンマスクの順に効果があると文部科学省より通知がありました。ご家庭におかれましても、感染状況に合わせて今一度マスクの種類をご検討下さい。



## お昼の歯みがきを一時的に中止します

本校では、歯みがきで口内細菌を減らすことが感染症の予防にも繋がる観点から、感染対策を講じつつ、お昼の歯みがきを継続してまいりました。けれども、デルタ株の感染力が従来株よりも強いことや、市内の医療機関が逼迫している状況、ワクチンの接種が行き届いていない現状などを踏まえ、歯科校医の荒木先生と再度歯科教育について検討した結果、一時的にお昼の歯みがきを中止することを決定しました。

学校内におきましては、お昼の歯みがきの実施は行わないものの、歯みがきの大切さやこれまで築いた歯や口の中の健康への意識をより一層高められるよう、教育活動を進めていきたいと思っております。ご家庭におかれましても、帰宅後にお昼の歯みがきを実施するなど、学校と家庭とで協力し、本校の教育目標である「健康を見つめ・つくる子、活かし・広げる子」を育てていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。